

第1学年 学級活動学習指導案

第1学年1組 27名

第1学年2組 28名

第1学年3組 26名

第1学年4組 27名

1 単元名

りゅう学生となかよくなろう(4時間扱い)

2 単元の目標

- ・日本語とは異なる音声に接しながら課題を達成することで、留学生やクラスの友達との関係を意識し、集団や人間関係をよりよく構築していく中で大切にすべきことを理解することができる。(知識及び技能)
- ・相手の目を見て簡単な英語や身振り手振りを使って、自分と違う立場にある多様な他者と助け合ったり協力し合ったりして、進んでコミュニケーションを図ることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・体験的な活動を通して、友達や留学生等の多様な他者の個性を受け入れ、協力し合い、楽しみながらよりよい人間関係を築こうとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 児童観

本学年の児童は、11月に留学生との交流会を行った。簡単な自己紹介や歌、数集めゲームやジャンケン列車など簡単な英語を使って交流した。交流会後に行ったアンケート調査では、「留学生とのコミュニケーションは楽しかったですか。」の項目で、86.1%が「はい」と回答し、英語に対して興味・関心をもち、再度交流会を行いたいと考えた。

これを受けて、主体的に英語や異文化に慣れ親しむことをねらいとして、英語に触れる機会をより多くもち、楽しみながら学ぶことができるよう単元を設定した。挨拶や気持ち、相手への声掛け、リアクション等、日常生活で使っている言葉や表現に接する機会を多くもつことにより、抵抗感なく自然と受け入れられるようになると考えた。外国文化のよさや日本文化との違いに素直に驚いたり、感動したりする発達段階の現在だからこそ、児童の意欲を引き出し、興味・関心を高めながら楽しく英語に親しめるようにしていく。

(2) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全「学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくなったり信頼し合ったりして生活すること。」を受けて設定している。1学期から、外国語活動の時間には自分の気持ちを伝えたり、ゲームを行ったりして、英語に親しんできた。授業の始めには、「Hello song」や「Head, Shoulders, Knees, And Toes」を歌い、リズムを感じて体を動かしながら英語に親しんできた。日本語に限らず、外国語で自分の考えを表現したり、伝え合ったりする力を身に付けることは大人になってからも必要な能力である。その素地を養うためにも、小学校低学年における「聞きたい」「話したい」「知りたい」という意欲を生かした体験的なコミュニケーション活動の実践を行いたい。その上で、発信の相手を留学生に設定し、交流を楽しみながら、「相手に伝わった」という確かな実感が、次の「もっと伝えたい」という意欲につながるようにしていきたい。そして、友達や留学生とのコミュニケーションを図る活動を効果的に展開し、特別活動として大切にしている「文化的

寛容さを持ち、多様な他者を尊重する態度」を育てていきたい。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) シチュエーションを意識した授業の工夫

11月に留学生と交流会を行った。歌を歌ったり、小グループでの自己紹介をしたり、数集めゲームやジャンケン列車などをしたりして多くの留学生と交流を図った。知っている身近な英語を発話して簡単なコミュニケーションを図る児童が多くみられた。既習事項の簡単な英単語を使って遊ぶ体験を通して友達だけでなく、留学生ともコミュニケーションがとれる体験を多くもつ場を設定し、授業を通して進んでコミュニケーションを図れるようにする。

(2) 留学生との交流の場の設定

外国人留学生と、一緒に遊んで楽しむ活動(だるまさんの一日・仲間あつめゲーム・フルーツバスケット・カラー別リレー)を通して、身近な英単語でコミュニケーションがとれるという経験を味わわせたい。遊びの場ごとに使う英単語を変え(Sports, Number, Fruits, Color など)さまざまな英語に触れさせる。遊びの交流体験の中で、一緒にゲームをしたり、友達が話すことにチャレンジする姿を見たりして、コミュニケーションへの自信をもてるようにする。担任は、励ます役割や手助けに重点を置き、留学生と楽しく交流することを授業の目的とする。授業の最後に、留学生と楽しく遊んだり話したりできたか、自己評価をする場を設定する。

(3) 他教科での育成

教科	単元	取組	成果
生活	きれいなはなをさかせたい	自分が育てた花の生長の様子だけでなく、他の花と比べて考えた。	花の特徴を捉えながら、友達に分かりやすく説明する力が付いた。
特別の教科 道徳	国際理解、 国際親善	伝統文化を尊重、発展させようとする心情を育む。	他国への関心や理解を深め、相互に尊重しながら、国際親善に努めようとする実践意欲が育まれた。

5 外国語科支援員と連携について

(1) 授業に向けて

児童が多様な国の人や文化に触れる交流会にするため、担任から、外国語科支援員に多国籍の留学生を招待すること、交流会の目的と内容を伝えるよう依頼する。外国語科支援員は、交流会の内容や児童との関わり方について、留学生に事前に伝える等の連絡調整を行う。

(2) 授業の中で

外国語科支援員は、英語での伝え方に困っている児童には、英語での伝え方や発音の仕方を助言したり、発音を聞いて称賛し、自信をもてるようにしたりする。また、英語でなくても、ジェスチャーやリアクションを活用した伝え方を助言したり、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている児童を価値付けたりする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

日本語とは異なる音声に接しながら課題を達成することで、多様な他者と個の関係を意識し、集団や人間関係をよりよく構築していく中で大切にすべきことを理解している。	相手の目を見て簡単な英語や身振り手振りを使って、自分と違う立場にある多様な他者と助け合ったり協力し合ったり、進んでコミュニケーションを図ったりしている。	体験的な活動を通して、友達や留学生等の多様な他者の個性を受け入れ、協力し合い、楽しみながらよりよい人間関係を築こうとしている。
--	--	---

7 単元の指導計画(全4時間)

時	◆目標 【活動】	◎評価【観点】(方法) *指導上の留意点
1	◆留学生との交流に向けて見通しをもち、遊びの内容を考えることができる。	
	【留学生との交流に向けて、どんな遊びができるか考える】 ・第一回留学生交流会を振り返り、感想や課題を学級会ワークシートに考えを書く。	<外国語科支援員あり> ◎第一回留学生交流会について自分の考えをもち、学級会ワークシートに書くことができる。 【思・判・表】(ワークシート)
2	◆留学生との交流会に向けた準備を通して、外国語に親しむことができる。	
	【1時で児童が考えたものをもとに、英単語を使った簡単なゲームに取り組む】	◎クラスの友達と積極的に関わろうとしている。 【主】(観察) ◎リアクションを活用し、楽しみながら外国語でコミュニケーションを図っている。 【思・判・表】(観察)
3 (本時)	◆留学生との交流を通して、コミュニケーションを楽しむことができる。	
	【Hello song】 【数集めゲーム(Number)】 【フルーツバスケット(Fruit)】 【だるまさんの一日(Sports)】 【カラー別リレー(Colors)】	<留学生あり> *留学生の関わり方を確認する。 ◎簡単な英語やジェスチャーを使って、コミュニケーションを図ることができる。 【知・技】(観察)
4	◆留学生との交流会を振り返ることができる。	
	【学級会ワークシートに考えを書く】 ・留学生との交流会を振り返り、感想や課題を学級会ワークシートに書く。	◎留学生との交流会を振り返り、感想や課題をワークシートに書いている。 【主】(ワークシート)

8 本時の指導(3/4)

(1) 目標 留学生との交流を通して、コミュニケーションを楽しむことができる。

(2) 展開

学習活動	指導者の主な動き	・留意点 ◎評価
導入 I Greeting (5分)		
○挨拶をする。 ○「Hello song」を歌う。 ○めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> Today's goal りゅうがくせいとたのしくあそぼう。 </div>		
展開Ⅰ II Practice (3分)		
○本時の学習の説明をする。 ○所定の場へ移動する。	T1: 学習の流れを児童に説明をする。 所定の場所を初めに伝える。 T1: 留学生に遊ぶ内容を説明する。	
展開Ⅱ II Practice (3分)		
○クラスごとに所定の場で活動する。 【数集めゲーム (Number)】 【フルーツバスケット (Fruit)】 【だるまさんの一日 (Sports)】 【カラー別リレー (Colors)】	T1~4: 遊びの説明をする。 英語やジェスチャーを使ってコミュニケーションを図ろうとしている児童を称賛する。	・指導者は、場ごとに児童に助言をしたり、支援をしたりする。 ・留学生に声をかけ、スムーズに活動ができるようにする。 ◎簡単な英語やジェスチャーを使って、コミュニケーションを図ることができる。 <div style="text-align: right;">【知・技能】(観察)</div>
まとめ IV Look back (5分)		
○振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【目指す児童の振り返り】 留学生との遊びがとても楽しかった。ゲームの中で英語を話してみたら、留学生が分かってくれてうれしかった。 </div> ○挨拶をする。	T1: 児童のよかったところを価値付ける。	・代表児童にふりかえりを発表させる。 ・留学生からも感想を聞く。

